

財政状況等一覧表（平成21年度決算）

(単位:百万円)

団体名 渡嘉敷村

標準繰入金総額 A	普通交付税総額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
75	615	46	737

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	1,601	1,496	105	87		1,509	
一般会計等	1,601	1,496	105	87		1,509	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入金込額	備考
簡易水道事業特別会計	124	123	1	1	100	597	509	
航路事業特別会計	548	551	△3	△3	0	0	0	
下水道事業特別会計	56	56	0	0	40	61	51	
国民健康保険事業特別会計	112	94	19	19	19	0	0	
後期高齢者医療特別会計	6	6	0	0	4	0	0	
老人保健事業特別会計	2	2	0	0	0	0	0	
公営企業会計等計				17		658	560	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入金見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入金込額	備考
沖縄県市町村自治会館管理組合	680	674	7	7	50	—	—	
沖縄県市町村総合事務組合	12,081	12,072	10	10	1,903	23	—	
南部広域行政組合	130	124	6	6	6	—	—	
沖縄県町村交通災害共済組合	17	11	6	6	—	—	—	
南部広域市町村圏事務組合	412	316	95	87	—	228	—	
沖縄県介護保険広域連合	22,695	22,534	161	161	610	—	—	
沖縄県後期高齢者医療広域連合	118,103	110,636	7,467	7,467	1,704	—	—	
一部事務組合等計				7,744		251	—	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの貸付補償に係る債務残高	一般会計等負担員決議	備考

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	152	262	110
減債基金	21	45	24
その他充当可能基金	541	560	19
充当可能基金計	714	867	153

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	9.93	11.75	1.82	△15.00	△20.00	簡易水道事業特別会計	—	—	—
連結実質赤字比	10.46	14.09	3.63	△20.00	△40.00	航路事業特別会計	△4.6	△0.6	4.0
実質公債費比率	19.4	17.3	△2.1	25.0	35.0	下水道事業特別会計	—	—	—
将来負担比率	40.9	—	△40.9	350.0					
財政力指数	0.11	0.10	△0.01						
経常収支比率	88.5	85.2	△3.3						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律△20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算における基準である。